

www.r-toolbox.jp

toolbox

プライウッド洗面台

目次

安全上のご注意	1
施工前の確認	2
施工方法	5
施工後の確認	10

安全のために必ずお守りください

取り付け前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に取り付け、あなたや他の人々への被害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次の通りです。



警告

警告を無視した取り扱いをすると、
死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性があります。



注意

注意を無視した取り扱いをすると、
物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。



気を付けなければ
いけない注意事項



やってはいけない
注意事項



しなければいけない
強制事項

株式会社 TOOLBOX





URL www.r-toolbox.jp
E-mail contact@r-toolbox.jp

安全上のご注意






設置前にご確認ください

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。

警告

-  **分解・改造はしない。**
思わぬ事故の原因になることがあります。
-  **浴室など高温多湿な場所や、水に浸かる可能性がある床面には設置しないでください。**
キャビネットの劣化、電気用品を使用する場合は感電のおそれがあります。
-  **電気工事・給排水工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。**
火災・感電・漏水の原因になることがあります。
-  **洗面キャビネットの据付は、壁面の木枠の位置や強度が十分であることを確認して設置説明書通り正しく行ってください。**

注意

-  **排水器具・排水管の取付け、および給排水管の接続部分のシールは確実に行ってください。**
-  **移動などの際は、2人以上でしっかりと持ち上げてください。落下してケガをする恐れがあります。**
※PPバンドを持って運ぶと、商品の重量でバンドが切れてしまう恐れがありますので、十分に気を付けてください。
-  **組立設置完了後は、引出しのがたつきやゆるみのないことを必ず確認してください。**
落下し、ケガをするおそれがあります。
-  **ネジ類で固定する際は、締めすぎて空回りしたり、ネジの十字溝を破損して回しにくくならないようにしてください。**
固定が不十分になり、落下してケガをする恐れがあります。
-  **棚受けダボは側板に完全に差し込んでから棚板をセットし、確実に棚板が固定されているか確認してください。**
棚板への差し込みが不十分な場合、棚板が落下してケガをする恐れがあります。

施工前の確認

洗面台キャビネット本体

※ W910 以上はサイズオーダー品となります。

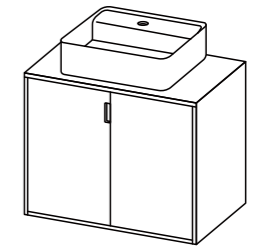
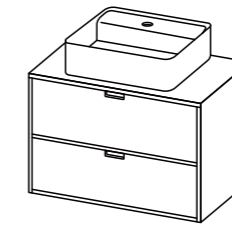
※ W1210 以上はホワイトのみです。

引き出し

開き戸

規格サイズ

W650
(ホワイト/クリア)

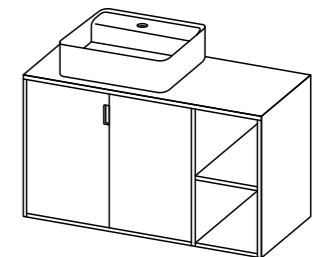
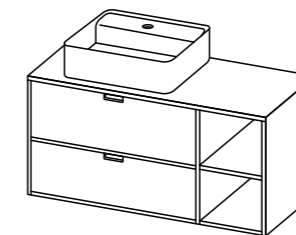


規格サイズ

W900 左/右
(ホワイト/クリア)

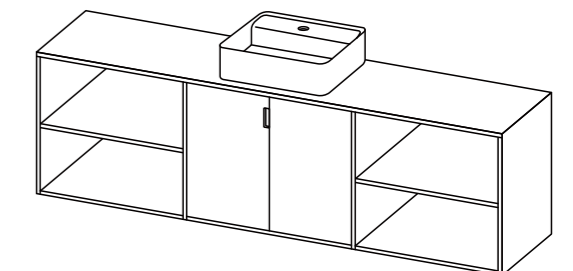
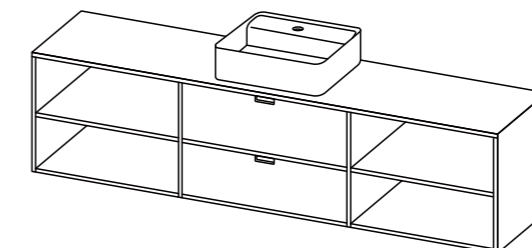
サイズオーダー

W910 ~ 1200 左/右
(ホワイト/クリア)



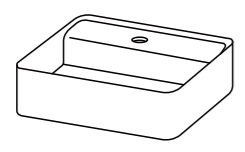
サイズオーダー

W1210 ~ 1500
(ホワイトのみ)

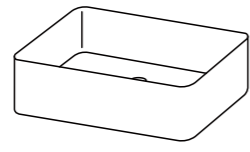


■ 付属部品

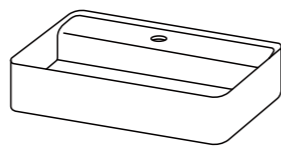
● 洗面ボウル ×1



W430 水栓穴付き



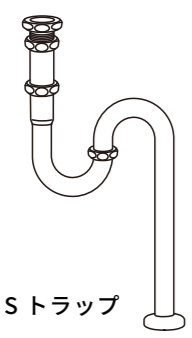
W485 水栓穴なし



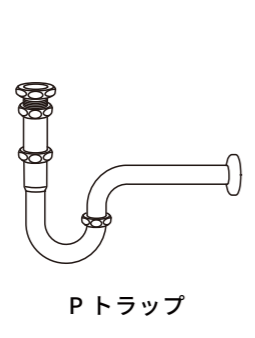
W600 水栓穴付き

※ W485 水栓穴なしの場合は壁出し水栓となります。
 ※ W600 水栓穴付きは W1210~1500 (サイズオーダー品のみ) の洗面台と組み合わせることが可能です。

● 排水金物一式 ×1 セット

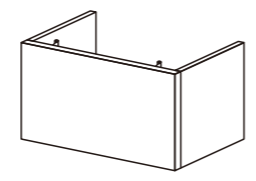


Sトラップ



Pトラップ

● 配管カバー用台輪 (オプション)



高さは現場に合わせてカットします
 取り付けは P.9 をご確認ください。

※ 床給水・排水の管が見える場合に取付けます。

● 壁固定ビス・ビス頭用シール

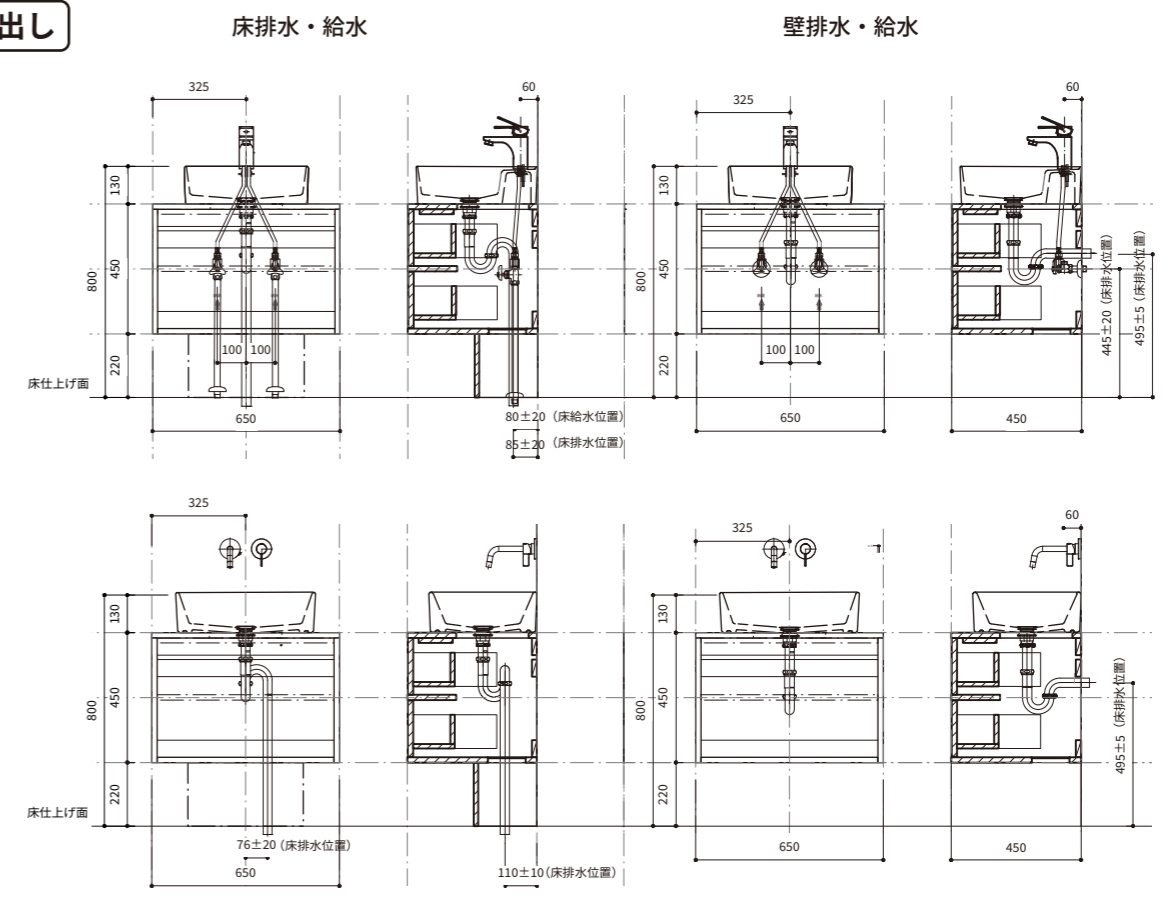
※ W によって付属本数が変わります。

製品仕様	サイズ/勝手	壁固定ビス本数	ビス頭用シール枚数	
引き出し /開き戸	規格サイズ	W650	6本	なし
		W900 オープン棚 右 W900 オープン棚 左	6+4本	4枚
	サイズオーダー	W910~1200 オープン棚 右 W910~1200 オープン棚 左	6+4本	4枚
		W1210~1500	6+4+4本	8枚

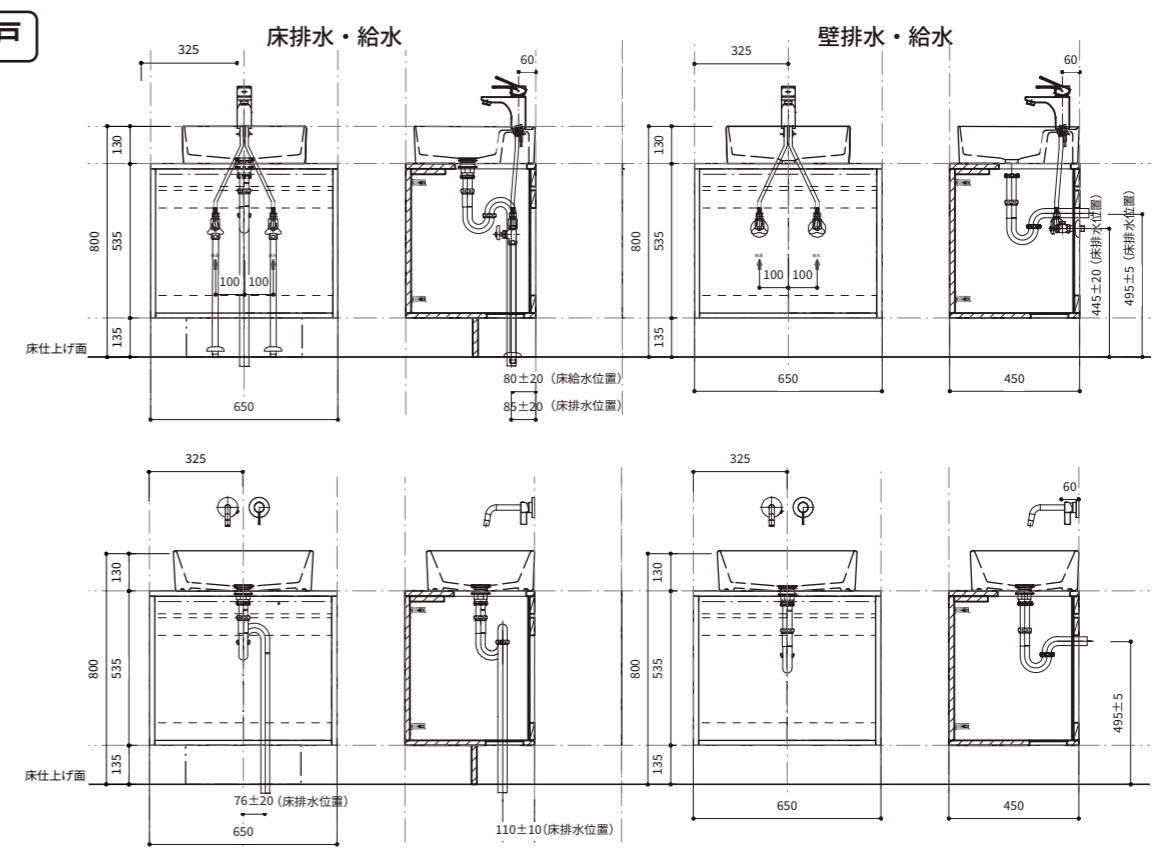
■ 給排水位置・設置寸法

※ 姿図は商品ページよりご確認ください。

引き出し



開き戸



施工方法

■ 取り付け前の確認

- キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木棧（厚み 30mm以上、高さ 90mm以上）を入れてください。（固定用木棧が取り付けられない場合は、設置壁の前面に厚み 12 mm ×2 枚以上の JAS 規格品の合板を強固に取り付けてください。）
- 給水・給湯管を所定の位置に取り出してください。
- 引き出しタイプの洗面台の取付壁面は、露出する部分がありますのでクロス貼りなどの壁仕上げをしておいてください。
- 扉・引き出しの可動範囲にドア枠など突起物がないか、事前に確認をお願いします。
- 床給水・床排水の場合は底板（点検口）の所定の位置に、給水・給湯穴（Φ30～40）、排水穴（Φ45～60）の穴をあけてください。
- 扉タイプは背板が付属します。
壁給水・床給水の場合は背板の所定の位置に、給水・給湯穴（Φ30～40）、排水穴（Φ45～60）の穴をあけてください。
- 壁給水・給湯穴、排水穴が本体の背面の棧と被る場合は、事前に棧を欠き込んでください。
- 耐荷重：40kg まで

1 キャビネットの固定

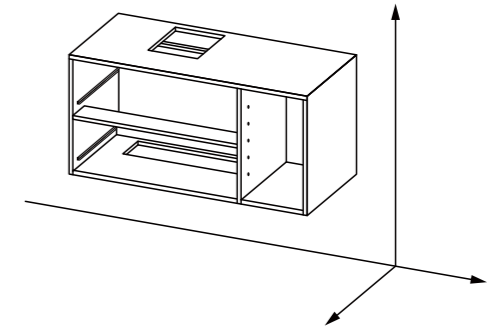
引き出しタイプの場合

事前準備 引き出し・棚板はあらかじめ全て取り出してから施行してください。
※ 取り出した後は傷がつかないように引き出しを養生の上に置いてください。

1 下地位置の確認・各基準線の墨だし

取り付け時の基準となる位置に墨出しをして、水準器で水平・垂直を確認してください。
取付用木下地がしっかり取り付けられていることを確認してください。

- ※ 取付用木下地は現場でご準備ください。
- ※ 床排水の場合は洗面器トップ H800mm が一番高い寸法になります。

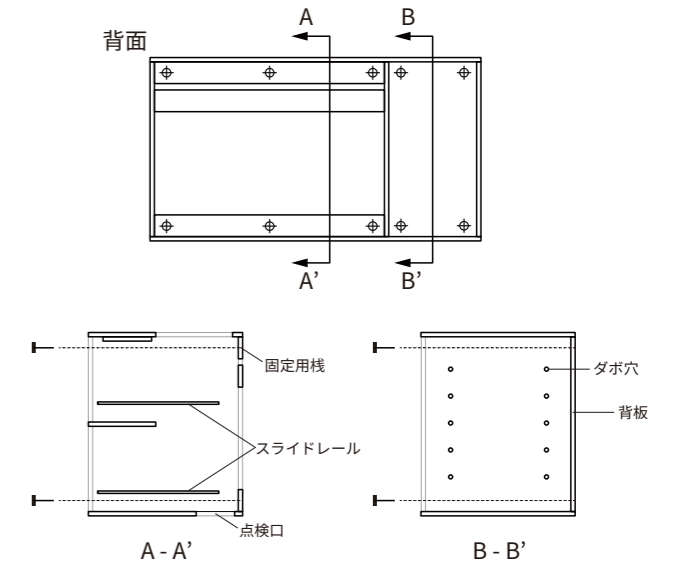


2 壁への取り付け

背面の棧を付属の M4 ×50 ネジで壁に取付けてください。
オープンの棚があるタイプは、ビス頭に付属のシールを貼り付けます。

- ※ 引き出しタイプに背板は付属しません。
床排水の場合は底板の点検口に床配管用の穴を開けてください。
- ※ 取付穴位置に下穴（φ3）を必ず開けてください。

- 給水, 給湯穴 (Φ30～40)
- 排水穴 (Φ45～60)



開き戸タイプの場合

事前準備 扉はあらかじめ全て取り外してから施行してください。

※取り出した後は傷がつかないように引き出しを養生の上に置いてください。

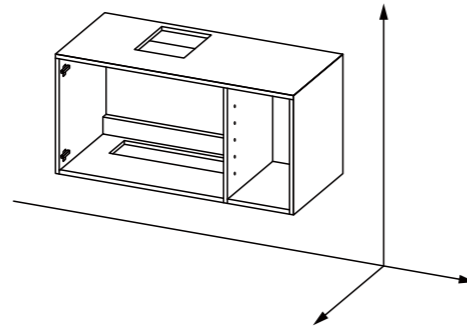
1 下地位置の確認・各基準線の墨だし

取り付け時の基準となる位置に墨出しをして、水準器で水平・垂直を確認してください。

取付用木下地がしっかり取り付けられていることを確認してください。

※取付用木下地は現場でご準備ください。

※床排水の場合は洗面器トップ H800mm が一番高い寸法になります。



2 壁への取り付け

1. 扉タイプのキャビネットは出荷時に背板が同梱されています。

施工前に一度取り外し、**壁排水・給水がある場合は事前に配管用の穴をあけてください。**

床排水の場合は底板の点検口に床配管用の穴を開けてください。

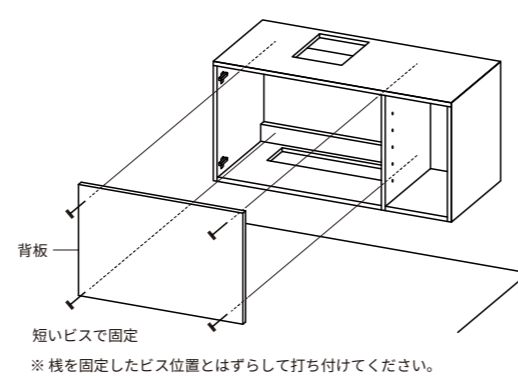
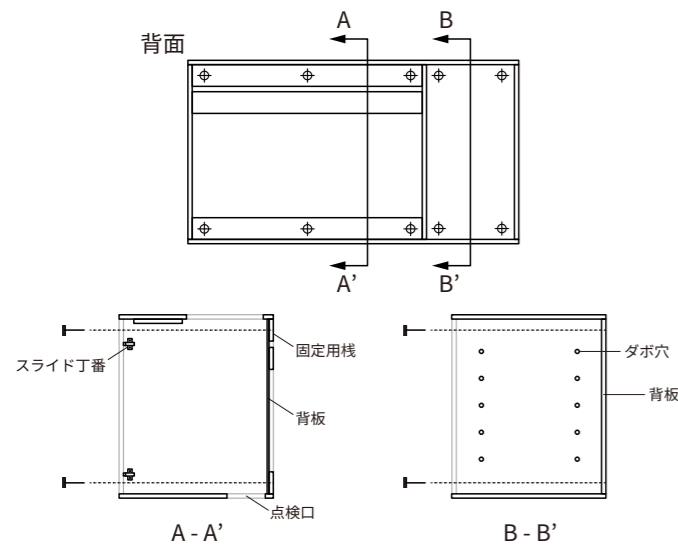
- ・給水, 給湯穴 (Φ30 ~ 40)
- ・排水穴 (Φ45 ~ 60)

2. 背面の棧の上から背板を付属の M4 × 50 ビスで壁に取り付けてください。

オープン棚があるタイプは、ビス頭に付属のシールを貼り付けます。ビス頭に付属のシールを貼り付けます。

※取付穴位置に下穴 (φ3) を必ず開けてください。

※タイルの場合は、アンカーなどを用いて取付けてください。



※棧を固定したビス位置とはずらして打ち付けてください。

2 水栓金具の取り付け

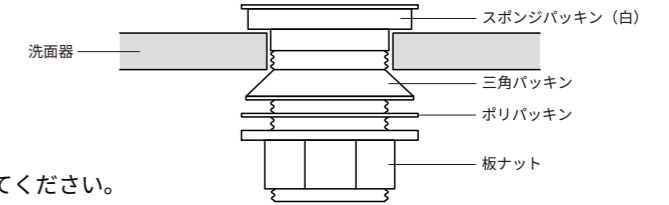
水栓金具の施工説明書および取扱説明書を確認の上、記載された施工手順に従い、取り付けてください。

3 排水栓の取り付け

排水栓は図の順番でボウルに取り付けてください。

※排水栓ねじ部にシール材の塗布は不要です。

※イラスト以外の部品は天板に洗面器を載せた後、作業してください。



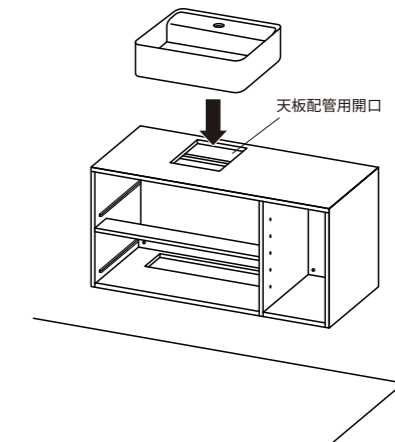
4 洗面ボウルの取り付け

1 ボウルをキャビネット本体に載せる

必要があれば壁面と陶器の隙間にコーキングを打ちつけてください。

2 排水栓カバー (ヘアキャッチャー) の取り付け

排水栓の上に専用のカバー (ヘアキャッチャー) をのせてください。



5 止水栓の取り付け

1 給水給湯管に止水栓を取り付ける

給水給湯管に止水栓を取り付け、湯と水を間違えないように接続してください。

2 接続後、水を出して確認する

給水給湯管と止水栓の接続後、止水栓を開いて水を出し、詳細は水栓金具に付属の説明書をご覧ください。

6 排水金具の取り付け

付属の説明書の通りに排水金具を洗面ボウルに取り付けてください。

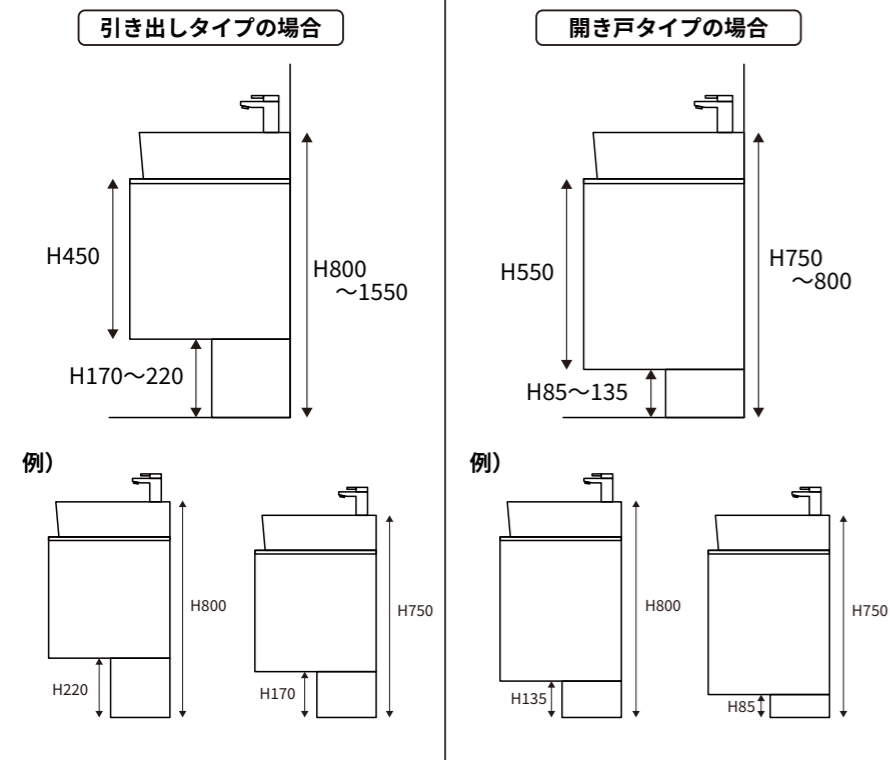
7 配管カバー用台輪の固定

※ 配管カバー用台輪はオプションの選択をした場合のみ付属します

1 配管カバー用台輪の寸法合わせ・カット

正面の板と側板を、取り付けたキャビネットの高さに合わせて切断してください。

配管スペースの高さ目安



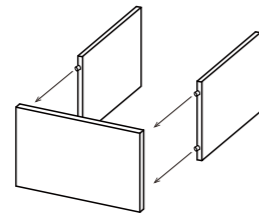
注意

⚠️ カットする向きにご注意ください。
上位置合わせでカットします。巾木がある場合は巾木の厚み分、欠き込んでください。

必要な寸法にカット

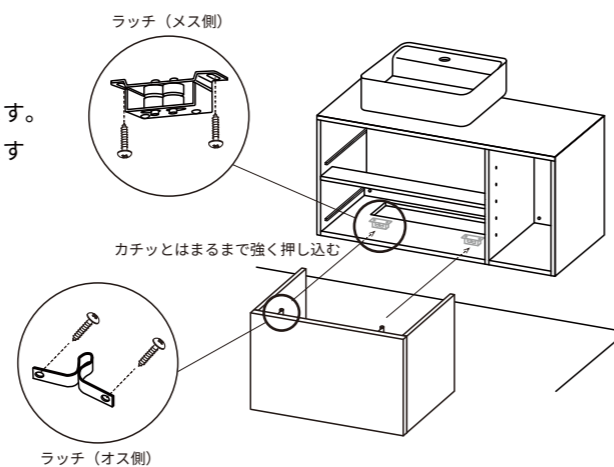
2 配管カバー用台輪の組み立て

1. 切断した側板の木口を正面板のダボ穴に接着剤をつけ、差し込んで組み立てます。



2. 下穴が空いている位置にラッチ（オス側）を付属ビスで固定します。キャビネットの底裏面にもラッチ（メス側）の下穴が空いていますので、付属のビスで下から固定します。

取り付けられたラッチに向かって正面から差し込みます。カチッと音がするまで押し込んでください。



8 引き出し・扉の取り付け

事前に取り外した引き出し、扉を取り付けてください。

※引き出しはスライドレールにハマっていることを確認してください

※扉はスライド丁番で高さとお行きを調整してください。

施工後の確認

- 1 各動作部（水栓金具、引き出し、扉など）がスムーズに作動することを確認してください。
- 2 水栓金具を全開にして、5分程度通水し、給排水接合部から漏水しないことを確認してください。
- 3 本体が壁面にしっかりと固定されていることを確認してください。